

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

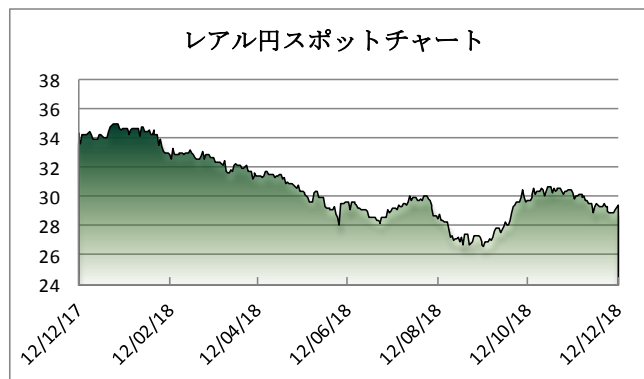
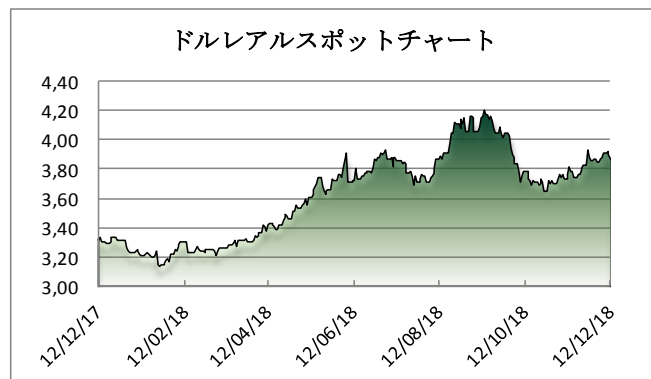
マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、取引開始直後に3.90台に到達する時間帯も見られたが、米中貿易摩擦に関する懸念がやや後退したこともあり、引けにかけては一貫してレアル買いが優勢に。前日比1.2%高となる3.85台前半で取引を終えている。ブラジル中銀は昨日COPOMを開催し、市場予想通り、政策金利を過去最低の6.50%で据え置いた(6会合連続)。一方、公表された声明文では、①予想よりも低いインフレ率につながる低成長のリスクが高まった、②国内改革が頓挫した場合に物価上昇圧力が高まる可能性も低下した、と指摘されるなど、当初予想よりもハト派色の強い内容となっている。声明文内で具体的に、「物価上昇を支える様々な措置が適切あるいは十分な水準で講じられていると政策委員会は判断している。これには景気循環や金融政策に最も敏感に反応する要素が含まれている」と説明されている他、先々のインフレ率見通しも、年内-3.7%、2019年-3.9%、2020年-3.6%、と前回対比下振れていることを踏まえると、「金利正常化の余地は従来想定していたよりも遅れる可能性が高い」との見方がマーケットで大勢となっている(政策金利の予想推移は、年内は6.50%、2019年は7.50%、2020年は8.00%)。インフレ期待の安定化は好材料であるものの、政策金利が中長期に亘って低水準で推移する場合、キャリー・トレード(低金利で資金を調達し、高金利で運用する手法)の魅力が低下することから、レアルにとってのサポート材料は減ることになる。なお、目先のレアル相場レンジは3.82-3.94とマーケットでは想定されている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	12月11日	12月12日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,9003	3,8531	-1.21%	2,34%	3,1210	4,2146
	対円	JPY	29,07	29,39	1,10%	-2,79%	35,13	26,39
	対ユーロ	BRL	4,4173	4,3808	-0,83%	3,49%	3,8531	4,9213
円	対ドル	JPY	113,38	113,29	-0,08%	-0,48%	104,56	114,55
	対ユーロ	JPY	128,32	128,78	0,36%	0,84%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	86,420	86,977	0,64%	1,70%	91,242	69,069
CDS Brazil 5yrs		bps	207,90	203,31	-2,21%	0,83%	311,85	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	10,14	10,01	-1,28%	-4,43%	12,60	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,40	6,40	-0,03%	-0,42%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,7790	2,7790	0,00%	6,31%	2,7790	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	181,80	181,20	-0,33%	-3,61%	206,95	178,79

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。